

町民の皆さまとの対話会 会議記録

開催日	令和6年11月30日	開催時間	16:00~17:30
会場	中深見公民館	参加人数	10名

No.	質問・意見要旨	回答要旨
1	発達障害への対応について、子ども家庭庁も手厚く支援したいと言っている。津南町は5歳児健診をやっているか。発達障害は早く見つけることが大事。5歳児健診時くらいの頃にある程度の判定をし、学校入学前に早めに対応できると家族にとっても周りにとっても良い。	発達障害への対応について研究させていただきます。
2	船津川が整備されていない。集落でも周辺にピオトープなどを整備しており、子どもを遊ばせるにはとてもいい環境である。埋蔵文化財センターの開館に合わせて整備できないか。	埋蔵文化財センターが開館するところですが、周辺の整備については地域の皆さんと相談し、アイデアをいただきながら一緒に進めていきたいと考えています。
3	道路の舗装を直ししてもらいたい（自宅前）。車が通った時に舗装の破片が飛んできて足にあたってケガをした。子どもが通る道なので同じようにケガをする可能性もある。	建設課で状況を伺い対応を検討させていただきます。
4	空き家をインバウンド客が素泊まりできるよう整備し、いち早くメディアに向けて発信してはどうか。そのような施策を取り入れてもらえないか。	貴重なご提案をいただきありがとうございます。事業を実施するために人材育成が必要となってくると考えているため、検討させていただきます。
5	①水中運動の大切さを実感している。高齢者の体力づくりに寄与しているが、プールがある地域とない地域では高齢者の健康寿命に差が出ていると聞いた。クアハウスの役割については大きく、町も何とか今後も維持してもらいたい。 ②高校生の遠距離通学の補助は大変助かっている。今後も続けてもらいたい。	①役場内でも昨年実施した新潟大学の研究事業の結果を共有したいと考えています。皆様からも積極的にクアハウスを活用いただければと思います。 ②今後も継続していけるように検討させていただきます。
6	今結婚しない人が増えている。津南町だけでなく十日町市と協力して結婚に繋がる取組を実施していただきたい。	すでに結婚支援の取組を十日町市と共同で実施しているところです。産業振興の面や住まいの面の取組も進めながら人口対策をしなければいけないため、若い人が津南で活躍できる事例を作っていきたいと考えています。結婚支援については、今後も新たな取り組みができるように進めていきたいと考えています。
7	ペット同伴（盲導犬等）で入ることのできる宿泊施設、お店はどのくらいあるか。断られる事例もあると聞いている。そういう理解が広まってほしいし、そういう町であってほしい。	ニュー・グリーンピア津南がありますが、その他はこの場では分からないため、確認させていただきます。他にも入れるお店があれば良いと考えますし、町民には暮らしやすく、津南を訪れるかたに対してもやさしい町にしたいと考えています。ご意見は参考にさせていただきます。
8	若い人が都会に仕事や大学に行っても新幹線を使えば、家から通うこともできる。住民票を動かさなくても今はどこでも働くことができる。自分も住民票を移さず単身赴任で都会へ長期間行っていた。今は色々な働きかたができるので、例えば税金は町に収めながら、都会で働くかたへの交通費の補助等をしていただくことはできないか。愛着があれば津南に住民票を置きながら働くこともできるし、いつでも戻ってこれる。	貴重なご提案をいただきました。そのような働きかたが増えている実態もあるようです。地方創生の考えかたを勉強させていただいていますが、地方が活性化するような施策を検討していきたいと考えています。
9	集落内の町道について、傷んだ箇所はお願いしてその都度舗装してもらっているが、舗装された箇所が低くなっている箇所がいくつかあり、もう少し平らにしてもらえないか。	現場を確認して対応させていただきます。